

全社研大第7号
平成27年1月23日

各都道府県社会教育委員連絡協議会会長殿
各政令指定都市社会教育委員会議議長殿

全国社会教育研究大会大分大会
実行委員会委員長 山崎 清男

第57回全国社会教育研究大会大分大会の分科会における実践事例発表レポートについて（依頼）

大寒の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、標記大会について、別添の開催要項（案）により実施する予定となっております。
つきましては、下記により実践事例レポートを公募いたしますのでご紹介いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 募集内容 分科会における実践事例発表レポート
12本（6分科会 各2本）
2. 選考方法 全国社会教育研究大会大分大会実行委員会にて選考
分科会のテーマ、内容を踏まえ提出書類を評価し決定します。
※平成27年4月末までに各都道府県及び政令指定都市の社会教育委員連絡協議会を通じて、分科会実践事例発表に係る依頼文を送付します。
3. 提出書類（別紙様式）実践事例発表レポート提案票
様式は本大会ホームページからダウンロードできます。
4. 提出期限 平成27年3月24日（火）※必着
※郵送、メールにより提出ください。
5. 提出先 全国社会教育研究大会大分大会実行委員会事務局 ※下記参照

大会事務局
全国社会教育研究大会大分大会
実行委員会事務局 担当：石井圭一郎
〒870-8503 大分市府内町3-10-1
大分県教育庁社会教育課内
TEL 097-506-5522 FAX 097-506-1798
e-mail ishii-keiichiro@pref.oita.lg.jp

平成27年度 第57回全国社会教育研究大会大分大会（案）

第45回九州ブロック社会教育研究大会（案）

第66回大分県公民館研究大会（案）

1. 大会スローガン

大分発「生かそう！みんなの学び 創ろう！地域を拓く社会教育」

2. 研究主題

互いに助け合い支え合う「地域力」を高める社会教育の再生

3. 趣 旨

社会教育は、時代の変化に柔軟に対応しつつ、これまで様々な取組を重ねてきました。社会教育の目的は、広範な学びの機会を提供し、その成果を実生活に生かすことです。人々の学びと実践は、社会の活力の源であり、学びの成果は新たな学びを創造していきます。

東日本大震災を契機として、多くの人々が「どう生きるか」について自分自身に問いかけています。また、これからの人口減少社会にどう対処していくか。我々が真摯に向き合うべき課題です。このように社会を取り巻く環境はめまぐるしく変化しますが、学びと実践の循環という社会教育の形は普遍であると信じます。

大分県は、豊かな自然と多彩な農林水産物に恵まれ、幅広い産業がバランスよく集積した「ものづくり県」です。また、豊富な温泉や歴史に彩られた「観光県」でもあります。多くの人々がそれぞれの地域で、「安心・活力・発展」の大分県をめざし、創造力溢れる社会教育活動に取り組んでいます。

そのような活力あるふるさととは、何よりも人々の学びと実践に支えられています。そして、それを未来につなぐのが子どもたちです。本県では平成19年2月に「地域協育振興プラン」を策定し、学校・家庭・地域が連携協力して子どもを育む「協育」ネットワークを構築してきました。この取組を通じて、いま社会教育に求められるのは「人づくり」、そして「人と人をつなぐ力」であると感じています。

このたび、全国の社会教育関係者が大分に集い、学び、そして交流する絶好の機会を得ました。私たちは、皆様を大分のおもてなしでお迎えするとともに、各地の素晴らしい実践を学び、ふるさととおおいたにしっかり根をおろした、人と人をつなぐ社会教育を再生したいと考えています。

4. 主 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、九州ブロック社会教育委員連絡協議会、大分県社会教育委員連絡協議会、大分県公民館連合会、大分県教育委員会、大分市教育委員会、第57回全国社会教育研究大会大分大会実行委員会

5. 後 援（順不同）

文部科学省、大分県、大分市、大分県市長会、大分県町村会、九州各県教育委員会、大分県PTA連合会、大分県高等学校PTA連合会、（一社）大分県地域婦人団体連合会、「小さな親切」運動大分県本部、大分県青少年赤十字指導者協議会、大分県生活学校運動推進協議会、大分県国公立幼稚園PTA連合会、報道関係者ほか

6. 期 日 平成27年10月7日（水）～9日（金）

7. 会 場

- <全体会> ホルトホール大分 市民ホール
 〒870-0839 大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555
 <分科会> ホルトホール大分 小ホール、大会議室、302・303会議室
 コンパルホール 文化ホール、多目的ホール、体育室
 〒870-0021 大分市府内町一丁目5番38号 TEL 097-538-3700

8. 参加者 社会教育・生涯学習に関心のある方 約1,200名

9. 参加費 一人 5,000円

10. 大会日程

第1日 10/7 (水)	9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00									
	社教連理事会									
第2日 10/8 (木)	9:00 10:00 11:00 12:00 30 13:00 50 14:00 50 15:00 16:00 17:00 18:00									
	九社連 理事会	社教連 総会		受付 分科会打合せ	ア シ ョ ン ト ラ ク	開 会 行 事	基 調 講 演	休 憩	分科会	
第3日 10/9 (金)	9:00 30 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00									
		シンポジウム			閉 会 行 事					

11. 分科会

分科会名	テーマ	内容
第1分科会	地域活動を担う人材の育成 ～「協育」ネットワークを担う人材の育成～	社会教育団体、NPO など地域を担う人材の育成手法
第2分科会	地域コミュニティの活性化 ～「協育」ネットワークによる地域コミュニティの活性化～	学びを通じた地域課題の解決方策
第3分科会	家庭教育支援の充実 ～「協育」ネットワークによる家庭教育支援の充実～	家庭教育支援、青少年の健全育成の充実方策
第4分科会	学校、家庭、地域による教育の協働 ～「協育」ネットワークによる地域教育の推進～	地域教育、学校支援の充実方策
第5分科会	地域活動を充実させる社会教育委員の在り方 ～「協育」ネットワークを充実させる社会教育委員の提言活動～	社会教育委員の提言活動、研究調査の充実
第6分科会	学びを支援する社会教育施設 ～「協育」ネットワークを支える社会教育施設の在り方～	公民館、図書館など社会教育施設の機能強化

第57回全国社会教育研究大会大分大会

分科会構成（全6分科会）

【研究主題】 互いに助け合い支え合う「地域力」を高める社会教育の再生

	分科会名	テーマ・内容
1	地域活動を担う人材の育成	「協育」ネットワークを担う人材の育成
		<内容例> ・社会教育団体、NPOなど地域を担う人材の育成手法 ・世代間交流による次世代への伝統文化継承など
2	地域コミュニティの活性化	「協育」ネットワークによる地域コミュニティの活性化
		<内容例> ・学びを通じた地域課題の解決方策 ・ボランティアによる地域活動の活性化など
3	家庭教育支援の充実	「協育」ネットワークによる家庭教育支援の充実
		<内容例> ・家庭教育支援や子育て支援の取組 ・青少年の健全育成の充実方策
4	学校、家庭、地域による教育の協働	「協育」ネットワークによる地域教育の推進
		<内容例> ・地域教育の推進方策 ・学校を核にした地域コミュニティの形成
5	地域活動を充実させる社会教育委員の在り方	「協育」ネットワークを充実させる社会教育委員の提言活動
		<内容例> ・地域課題、生活課題を反映させることができる研究調査の在り方 ・社会教育委員の答申や提言を生かした事業展開
6	学びを支援する社会教育施設	「協育」ネットワークを支える社会教育施設の在り方
		<内容例> ・地域課題に応える公民館、図書館など社会教育施設の機能強化 ・地域コミュニティを再生する社会教育施設

※全ての分科会テーマに「協育」ネットワークを掲げていますが、レポートの選考にあたり「協育」ネットワークの記載の有無については問いません。

※分科会では「協育」ネットワークを切り口に意見交換する時間を確保したいと考えています。

※大分県教育委員会では「協育」ネットワークを教育基本法第13条に基づく地域組織として位置づけています。

実践事例発表レポート提案票

＜紹介者＞

都道府県・ 政令指定都市名	
所属名	
職・氏名	
連絡先	(電話) (FAX) (e-mail)

＜実践事例発表者＞

団体名	
事例発表者 職・氏名	
連絡先	(住所) (電話) (FAX) (e-mail)
該当分科会 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 1 地域活動を担う人材の育成 <input type="checkbox"/> 2 地域コミュニティの活性化 <input type="checkbox"/> 3 家庭教育支援の充実 <input type="checkbox"/> 4 学校、家庭、地域による教育の協働 <input type="checkbox"/> 5 地域活動を充実させる社会教育委員の在り方 <input type="checkbox"/> 6 学びを支援する社会教育施設
レポート 内容 (簡潔にご 記入くださ い)	1 実践の目的 2 実践の概要 3 その他

実践事例発表レポート提案票

＜紹介者＞

都道府県・政令指定都市	大分県
所属名	教育庁社会教育課
職・氏名	主任社会教育主事兼主幹 ・ 石井 圭一郎
連絡先	(電話) 097-506-5522 (FAX) 506-1798 (e-mail) ishii-keiichiro@pref.oita.lg.jp

＜実践事例発表者＞

団体名	〇〇市社会教育委員連絡協議会
事例発表者 職・氏名	社会教育委員 ・ 大分 一郎
連絡先	(住所) 〒870-0000 大分県〇〇市〇〇〇〇 〇番地の〇 (電話) 〇〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (FAX) 〇〇〇-〇〇〇〇 (e-mail) 〇〇〇〇@〇〇〇〇. 〇〇. 〇〇
該当分科会 (○を付ける)	() 1 地域活動を担う人材の育成 () 2 地域コミュニティの活性化 (○) 3 家庭教育支援の充実 () 4 学校、家庭、地域による教育の協働 () 5 地域活動を充実させる社会教育委員の在り方 () 6 学びを支援する社会教育施設
レポート 内容 (簡潔にご 記入ください)	1 実践の目的 社会教育委員の会議の研究調査活動を通して、地域社会による家庭への支援活動が必要であることが提言された。そのため地域住民総参加による挨拶運動や児童生徒の登下校指導により地域住民への意識醸成を図ると共に保護者へ子どもへの関わり方を問う機会を設ける。 2 実践の概要 社会教育委員の会議と教育委員会事務局と協議し、モデル地域を選定するとともに活動計画を検討した。その後、社会教育委員が主体となって学校、自治会関係者へ挨拶運動の趣旨を説明し、年間通しての取組を実施した。 3 その他 平成26年度の大分県社会教育委員研修にて発表